

# 平成23年度 新潟県精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー開催要領

## 1 開催趣旨

平成22年2月に内閣府が行った調査結果では、全国のひきこもりの子ども・若者は70万人に上り、30歳代で長期にわたってひきこもっているケースも数多く見られるなど、遷延化するひきこもりの実態が明らかになりました。ひきこもりは、本人が直接相談に訪れないことも多く、家族はもとより相談を受ける医療・保健・福祉関係者も対応に苦慮しています。

そこで、今年度のセミナーのテーマを『「青年期のひきこもり」支援を考える。』としました。ひきこもりの専門家による講演と試行錯誤を重ねながら支援を行っている第一線の現場からの報告により、「青年期のひきこもり」支援のあり方を共に考えていくこととしたい。

## 2 主催（関係4団体・1機関）

新潟県精神医療機関協議会 新潟県精神障害者家族会連合会 新潟県精神保健福祉士協会  
新潟県精神障害者社会復帰施設協議会 新潟県精神保健福祉センター

## 3 プログラム

(1) 全体テーマ 『「青年期のひきこもり」支援を考える。』

(2) 日 時 平成24年2月3日（金） 午前10時30分から午後4時まで

(3) 会 場 新潟ユニゾンプラザ大研修室（新潟市中央区上所 2-2-2 TEL025-281-5511）

(4) 内 容

10:30 開会あいさつ 新潟県精神医療機関協議会 会長 染矢 俊幸

10:40 基調講演

演題 「青年期のひきこもりへの支援」

講師 山梨県都留児童相談所長（精神科医） 近藤 直司 氏

12:00 一昼休み（1時間）－

13:00 シンポジウム「ひきこもり支援の実際」（途中休憩時間10分）

◎シンポジスト

・市町村保健師の立場から

五泉市健康福祉課 保健師 渡辺 千夏 氏

・NPO法人の立場から

NPO法人にいがた若者自立支援ネットワーク伴走舎 事務局長 青木 洋之 氏

・教育施設の立場から

新潟県立教育センター 教育支援課 指導主事 笠井 兵彦 氏

・医療機関の立場から

医療法人 水明会 佐潟 荘 副院長 中垣内 正和 氏

◎指定発言 「ひきこもりを抱える家族の立場から」

NPO法人 KHJにいがた「秋桜の会」 理事長 三膳 克弥 氏

◎座 長 後藤 雅博 氏（新潟大学医学部保健学科 教授）

◎助言者 近藤 直司 氏（基調講演講師）

16:00 閉会あいさつ 新潟県精神保健福祉士会協会 会長 岡部正文

(5) 参加対象者

- ・精神科医療機関職員
- ・障害サービス事業者職員
- ・保健所等相談担当職員
- ・市町村保健師等職員
- ・精神障害者等家族会会員
- ・ひきこもり支援団体等職員
- ・教育関係者
- ・ひきこもりを抱える家族
- ・大学・専門学校生 等（180名）